

真備緊急治水対策プロジェクト 事業進捗等説明会

～事業の現状と今後の対応～

国土交通省 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
岡山県 備中県民局
倉敷市

令和2年1月31日(金)



《 本日の説明内容 》

1. プロジェクトの実施項目と行動計画
2. ハード対策
3. ソフト対策
4. 工事に関するお知らせ
5. その他

真備緊急治水対策プロジェクト

実施項目と行動計画

「真備緊急治水対策プロジェクト」の行動計画(アクションプラン)

「真備緊急治水対策プロジェクト」は、平成30年7月豪雨災害により明らかとなった様々な課題に対し、国、岡山県、倉敷市の3者が策定したものであり、具体的な行動計画に基づき、倉敷市真備地区における防災・減災の取組を、進めてまいります

真備緊急治水対策プロジェクト

ハード対策の行動計画

取組内容	実施主体	2020年1月 年度						
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
【洪水氾濫を未然に防ぐ対策】								
<小田川>								
小田川合流点付替え事業	国							
・仮設工事								
・掘削・築堤								
・貯水池河道整正								
・締切堤撤去								
・橋梁架設								
<小田川>								
堤防強化(浸透対策)	国							
堤防強化(堤防拡幅)	国・市							
<末政川・高馬川・真谷川>								
堤防強化	県							
堤防嵩上げ								
<小田川、末政川・高馬川・真谷川、大武谷川、背谷川、内山谷川>	国・県・市							
河道掘削、樹木伐採による適切な河川の維持管理								
【避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備】								
国・倉敷市が連携・協力し、災害時の応急活動・緊急復旧を迅速に行うための防災拠点の整備	国・市							
危機管理型水位計設置	国							
	県							

ソフト対策の行動計画

取組内容	実施主体	2020年1月 年度						
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
【広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知】								
河川管理施設への既往浸水深の表示	国							
指定緊急避難場所を追加したハザードマップの作成	市							
まるとまちごとハザードマップの取組の推進	市							
【避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成】								
関係機関と連携した多機関連携型タイムラインの作成	国・県・市							
タイムラインに基づいた首長等も参加した実践的な訓練	国・県・市							
【防災教育や防災知識の普及】								
ハザードマップ等の活用など地域に即した防災に関する出前講座の実施	国・県・市							
「マイ・ハザードマップ」や「マイ・タイムライン」、地域住民等で作成する「地区防災計画」の作成など住民の早期避難を促す避難体制づくりを推進	市							
教員を対象とした講習会の実施、小学生等を対象とした防災教育の実施	国・県・市							
危機管理型水位計を活用した関係機関等への水位情報のメール配信や、情報入手方法を記載したカード配信	国・県・市							
【より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化】								
河川管理者・水防団等による合同巡視を出水期までに実施	国・県・市							
【排水計画(案)の作成および排水訓練の実施】								
要排水箇所への排水ポンプ車の配備や、仮設ポンプ等の導入による排水能力の向上について検討	国・市							

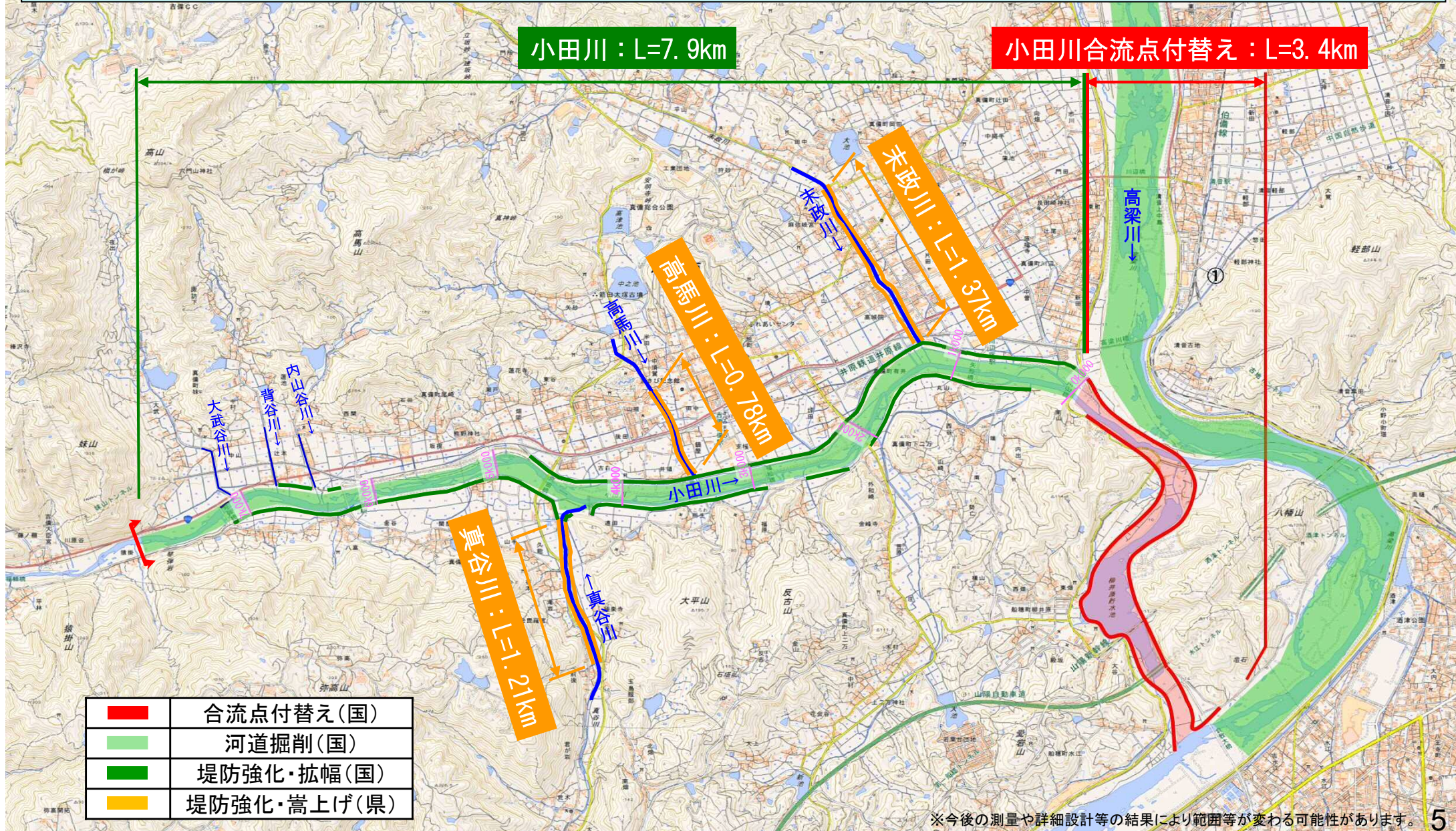
※行動計画(アクションプラン)とは、「真備緊急治水対策プロジェクト」の取組を「いつ」、「だれが」、「なにを」実施するかを定めたものです。

真備緊急治水対策プロジェクト

ハード対策

「真備緊急治水対策プロジェクト」ハード対策

■再度災害防止を図るため、国管理の小田川及び岡山県管理の末政川、高馬川、真谷川において、重点的な堤防整備（合流点付替え、嵩上げ、断面拡大等）と洪水時の水位を下げるための河道掘削を実施します

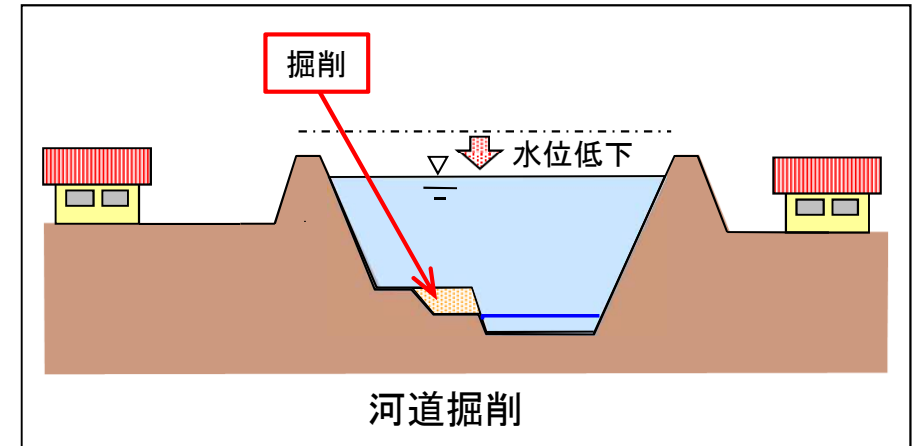
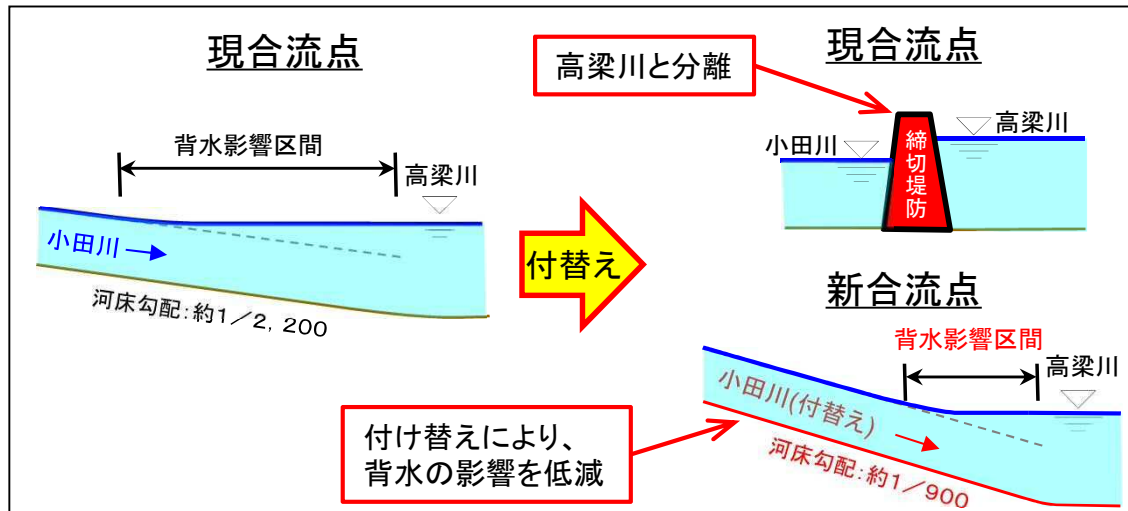


真備緊急治水対策プロジェクト(ハード対策の方針【国】)

治水対策の基本的な考え方

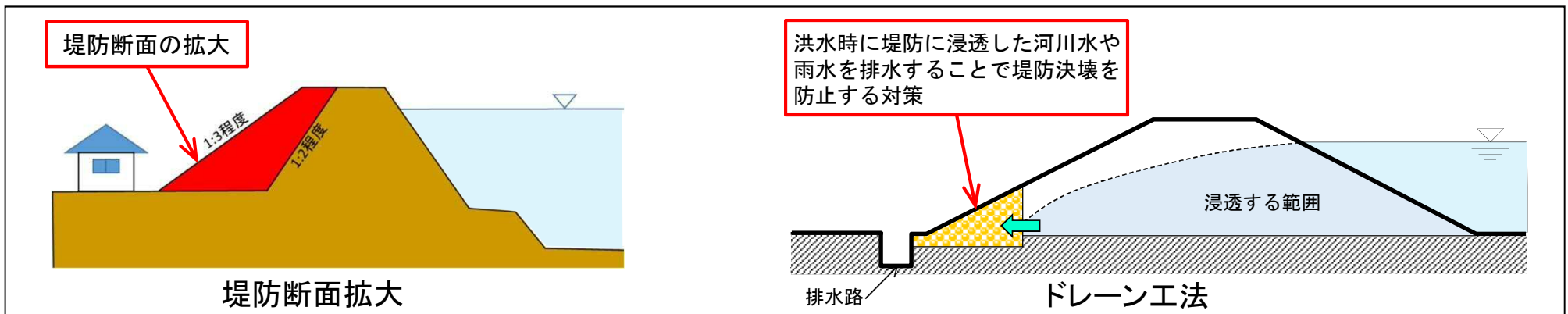
①川の水位を下げる

小田川合流点を付替えて高梁川の背水(バックウォーター)の影響を低減するとともに、河道掘削により川の器を大きくして水位を下げる



②川の水が堤防に浸透することによる弱体化を防ぐ

堤防断面の拡大や堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にして、堤防を強化する

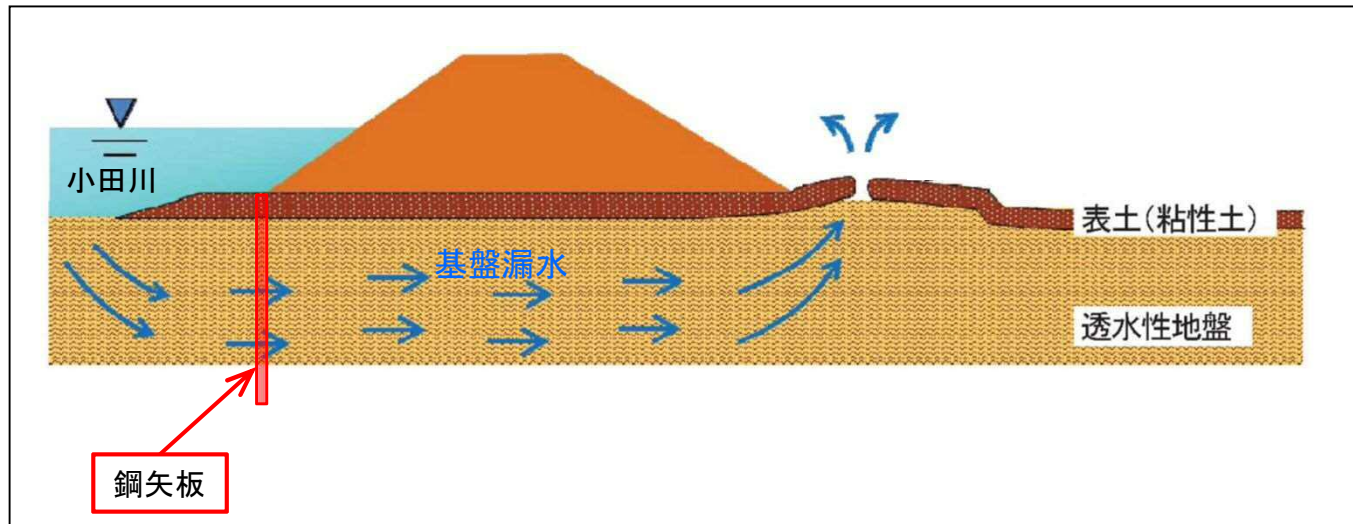


真備緊急治水対策プロジェクト(ハード対策の方針【国】)

治水対策の基本的な考え方

③基盤漏水対策

小田川の堤防直下に透水性の高い砂層や礫層がある場合、洪水時に河川水が透水層をとおり、居住地側に漏水し堤防決壊することを防ぐ

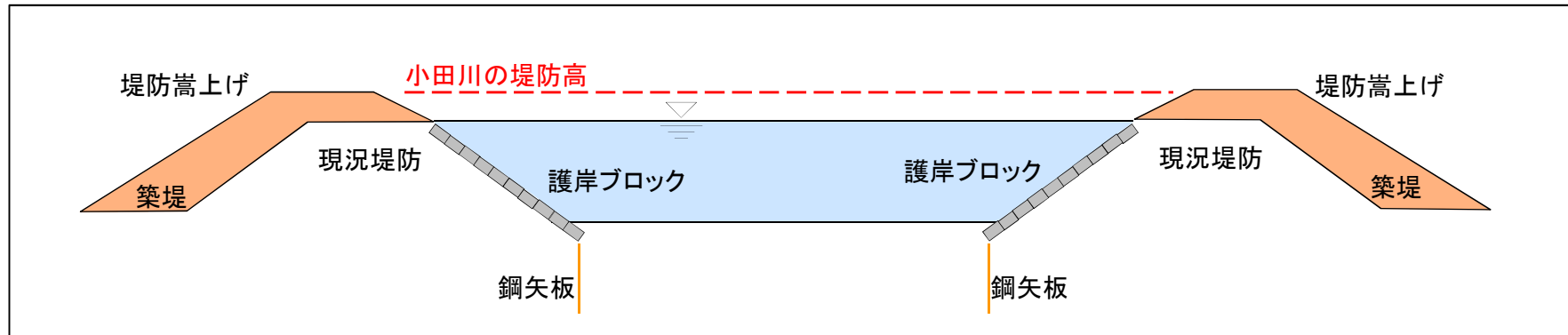


真備緊急治水対策プロジェクト(ハード対策の方針【岡山県】)

治水対策の基本的な考え方

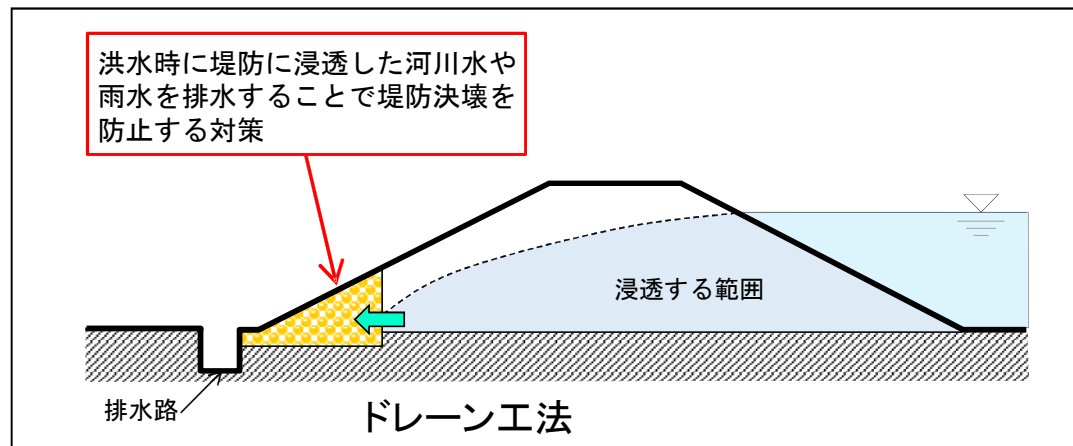
①堤防を嵩上げる

堤防の高さを小田川の堤防高まで嵩上げし、小田川の背水(バックウォーター)の影響を低減する



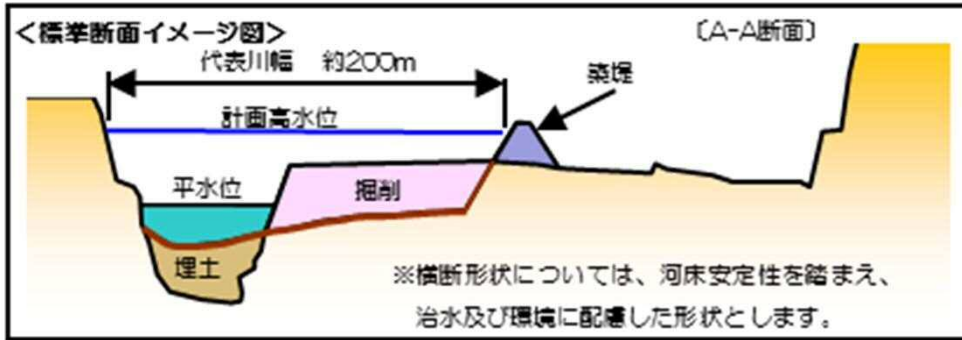
②川の水が堤防に浸透することによる弱体化を防ぐ

堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にして、堤防を強化する

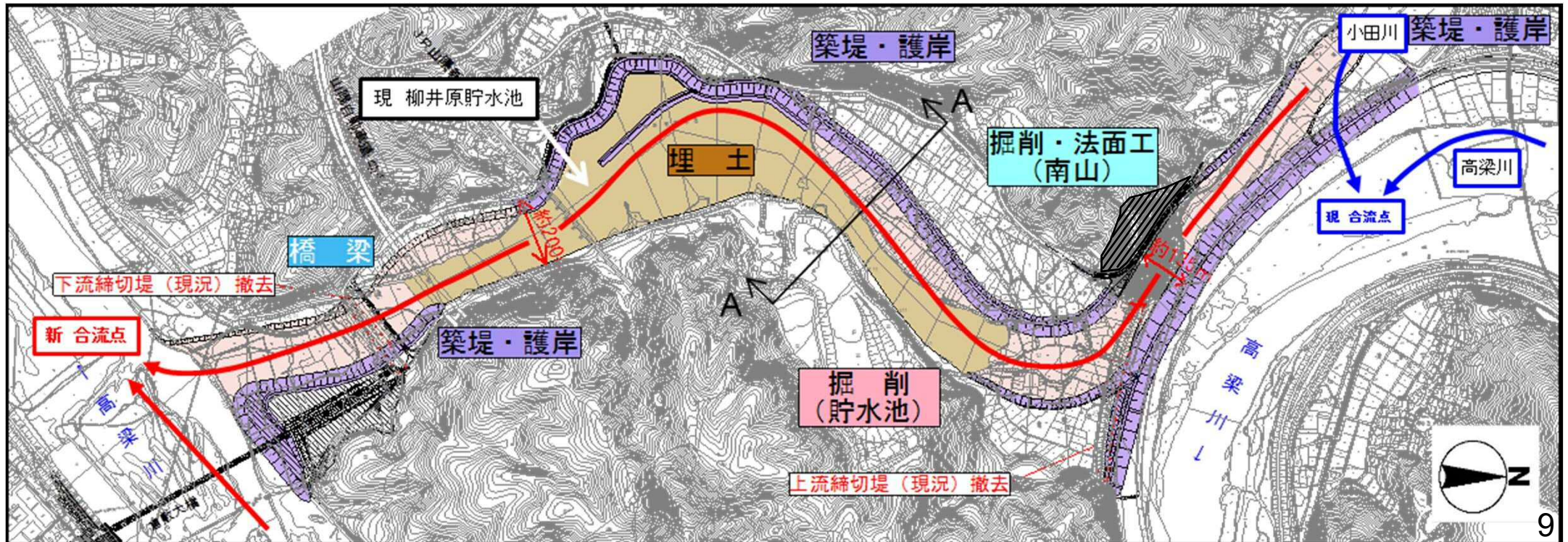


【国】小田川合流点付替え

- 小田川合流点付替え事業は、平成26年度の事業着手から15年間での完成予定でしたが、昨年の豪雨を受けて、集中投資と施工方法の見直し、ICTを活用した施工を行うi-Constructionの取組を推進し、2023年度（令和5年度）の完成を目指す
- 主な工事内容は、①南山等の掘削とその土砂を使用した築堤、貯水池内の埋土の実施 ②下流の締切堤上の道路を橋梁に付替え ③上下流の締切堤を撤去、小田川を付替え



工事内容	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
仮設工事 (迂回路、濁水処理設備)	■						
南山掘削		■	■	■	■	■	
築堤 (柳井原地区、耕作地)			■	■	■	■	
橋梁架設			■	■	■	■	
締切堤防		■	■			■	■
							合流点付替え (通水)



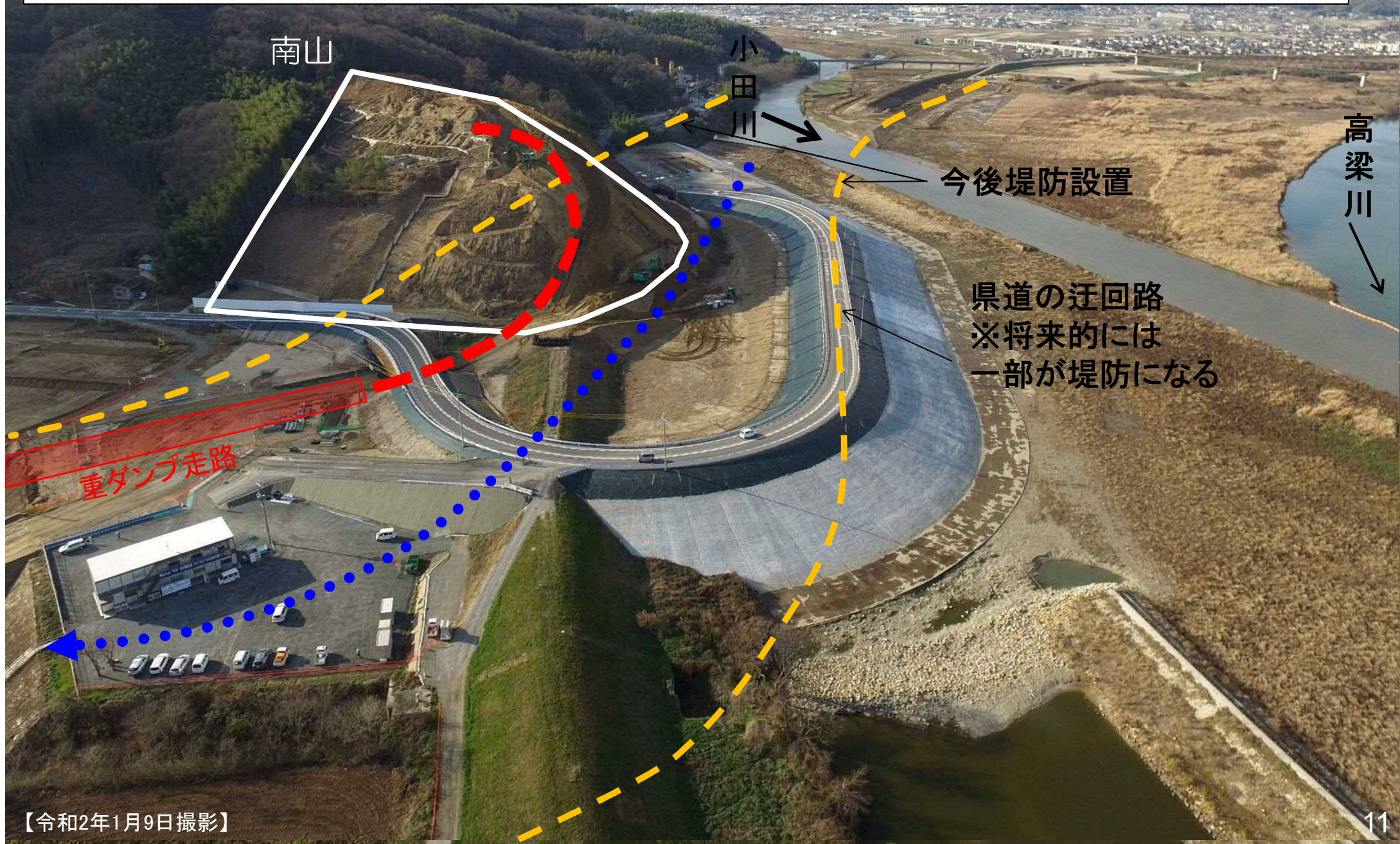
小田川合流点付替え事業の実施状況

- ★南山掘削を行うために必要な工事
 - 現県道（県道下原船穂線）の迂回路及び仮締切の設置 ⇒ 完成
 - 現小田川の合流点仮付替え ⇒ 完成
 - 築堤等のための工事用道路の設置 ⇒ 完成
- ★南山掘削工事
 - 掘削



小田川合流点付替え事業

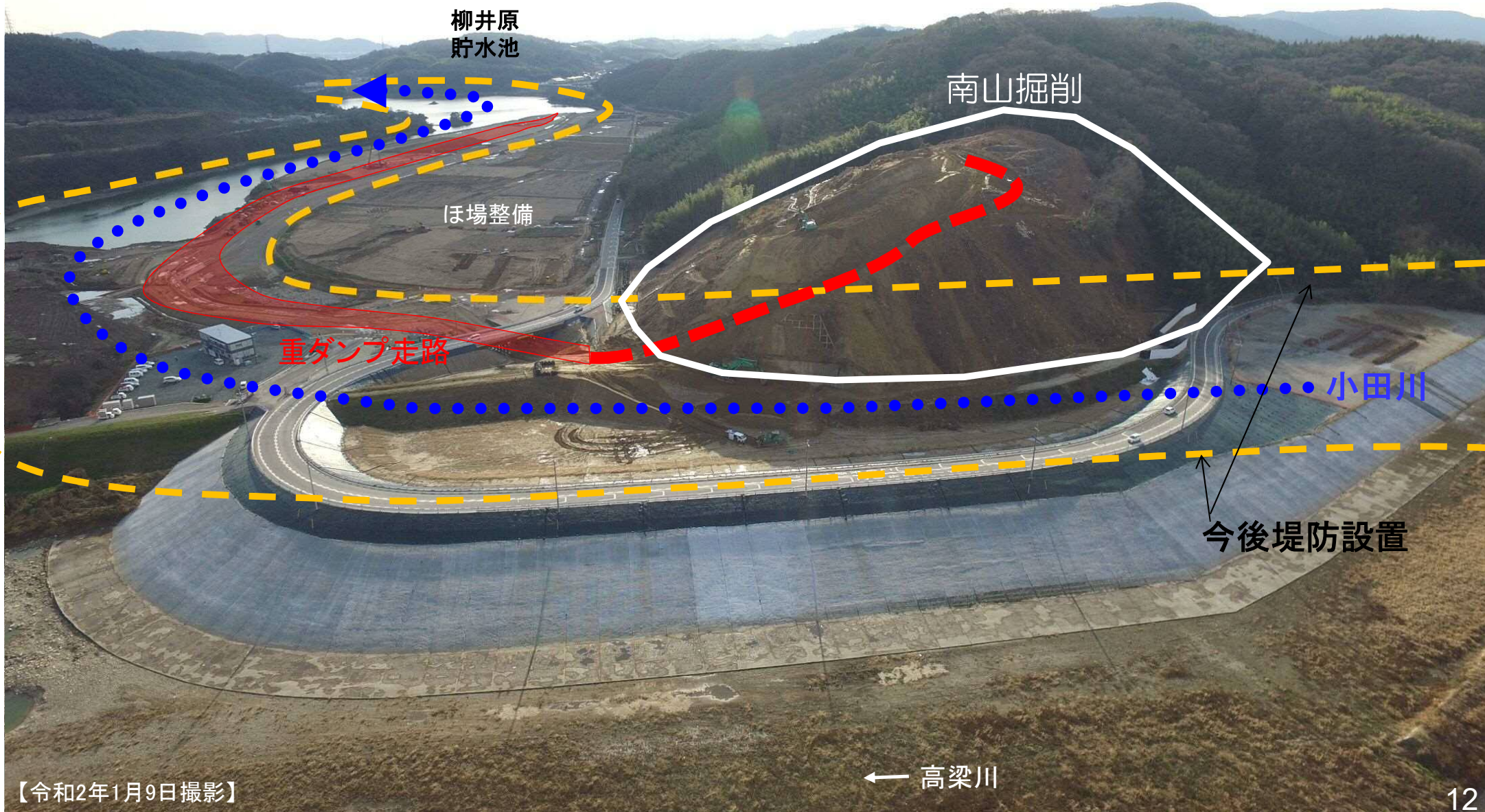
□掘削用の大型重機が南山山頂に到達し、令和2年1月23日より本格的な掘削作業に着手



【令和2年1月9日撮影】

小田川合流点付替え事業

□南山掘削で発生した土砂や岩砕を貯水池周辺の堤防や貯水池内の埋土に有効活用



【令和2年1月9日撮影】

小田川合流点付替え事業

- 大型重機（6.0m³バックホウ、30tブルドーザ、36tダンプ）を使用して、南山掘削を実施
- 大型重機（6.0m³バックホウ、30tブルドーザ、36tダンプ）は現場内のみを通行し、一般道の通行は行わない
- ただし、堤防やほ場整備を建設するために、高梁川や小田川の掘削土や資機材を現場搬入するため10tダンプ等は一般道を通行
- 道路汚損対策として現場から出るダンプトラックのタイヤ洗浄や路面洗浄を実施

南山掘削中



道路汚損対策(タイヤ洗浄)



道路汚損対策(路面洗浄)

小田川合流点付替え事業

- 南山掘削で発生した土砂を用いて堤防を建設するために、大型重機で運搬
- 工事中の粉塵対策として、工事用道路に散水を実施



小田川合流点付替え事業の実施状況

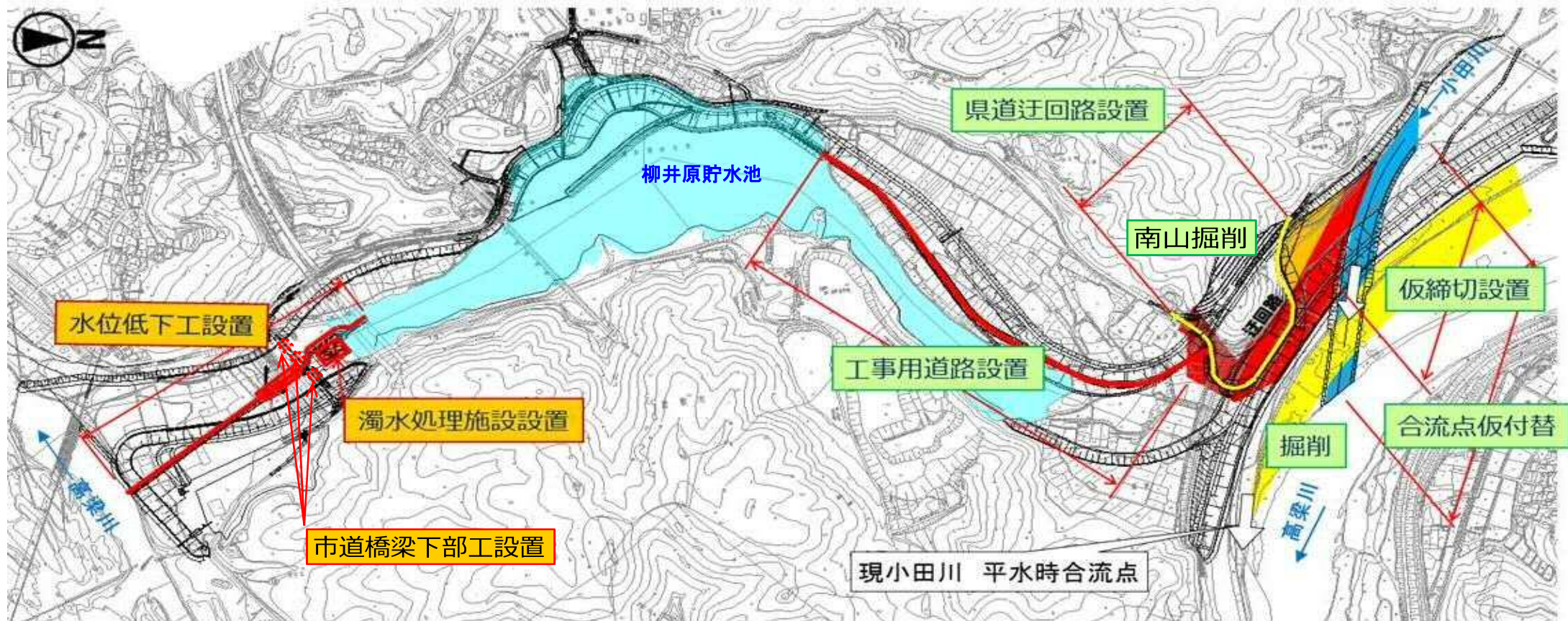
★築堤盛土を行うために必要な工事

○濁水処理施設設置：工事中に発生する濁水の処理設備を設置する工事 ⇒ 完成

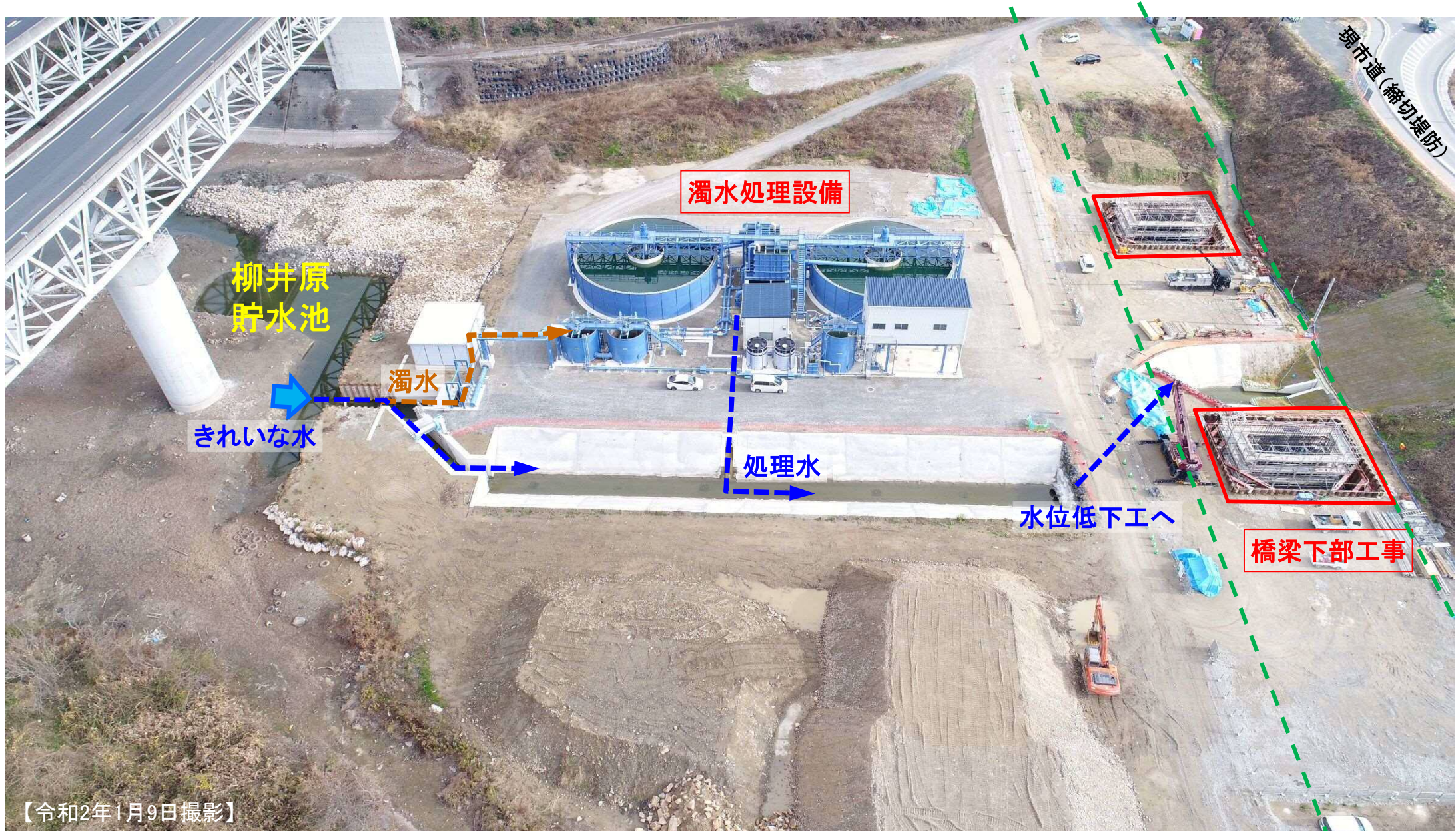
○水位低下工：堤防等を設置するために貯水池水位を低下させる施設を設置する工事 ⇒ 完成

★市道橋梁設置工事

○橋梁下部工（橋脚）



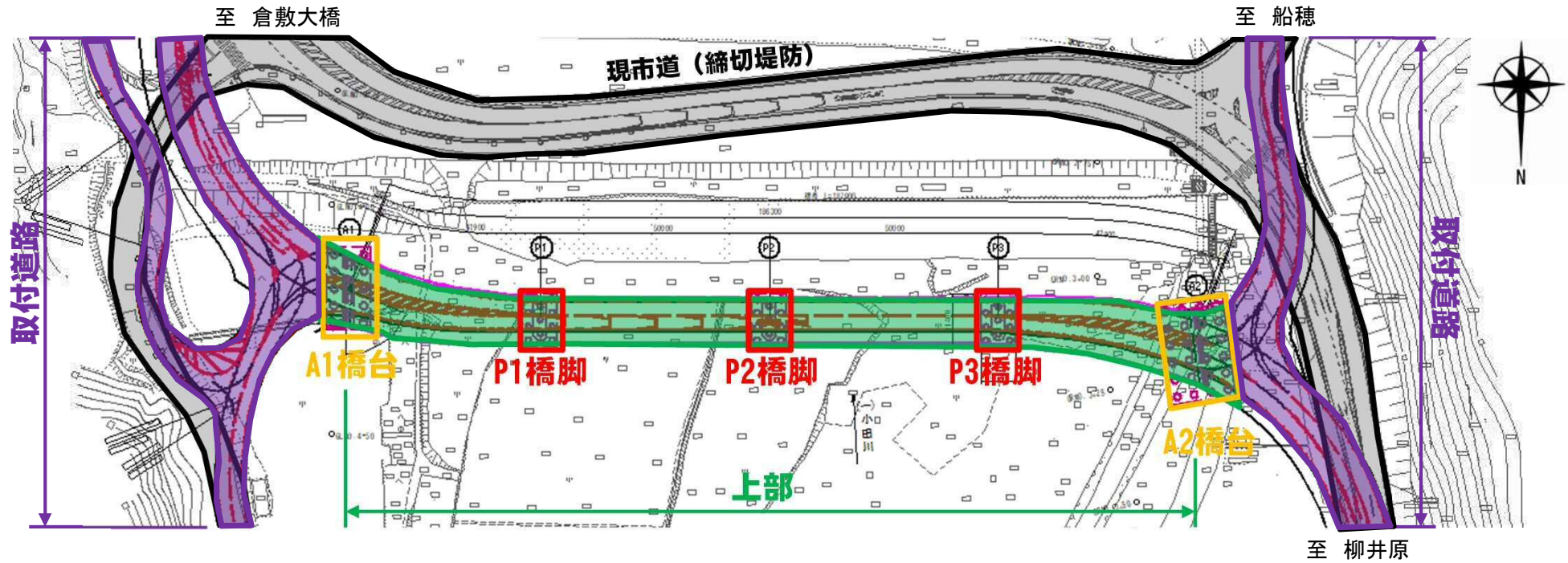
小田川合流点付替え事業(濁水処理施設・橋梁下部)



【令和2年1月9日撮影】

小田川合流点付替え事業(橋梁)

■ 令和4年度中の完成を目指して、本年度橋脚工事に着手



工事内容	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)
橋脚					
橋台					
上部		製作	架設		
取付道路					
					開通



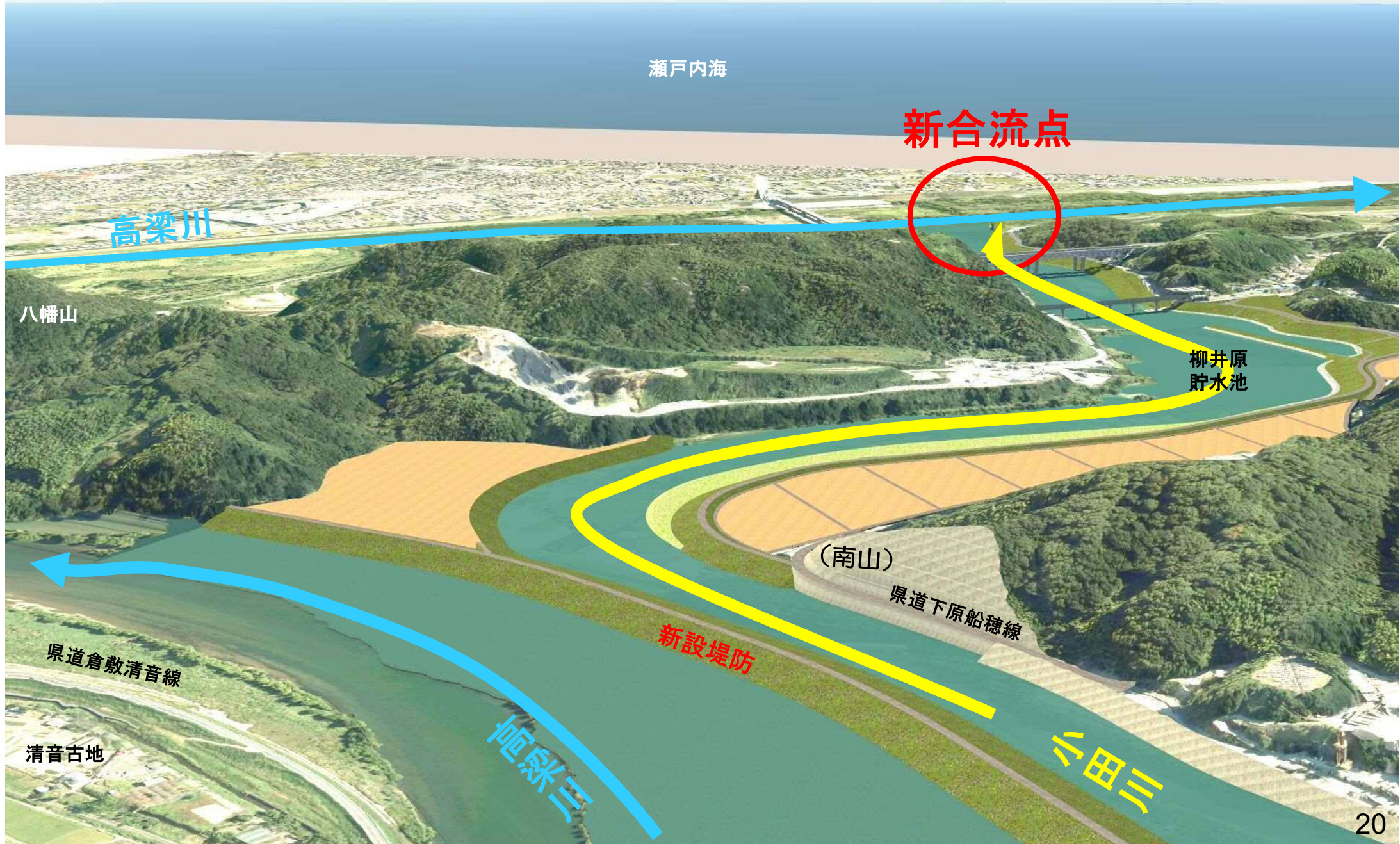
小田川合流点付替え事業(新合流点)



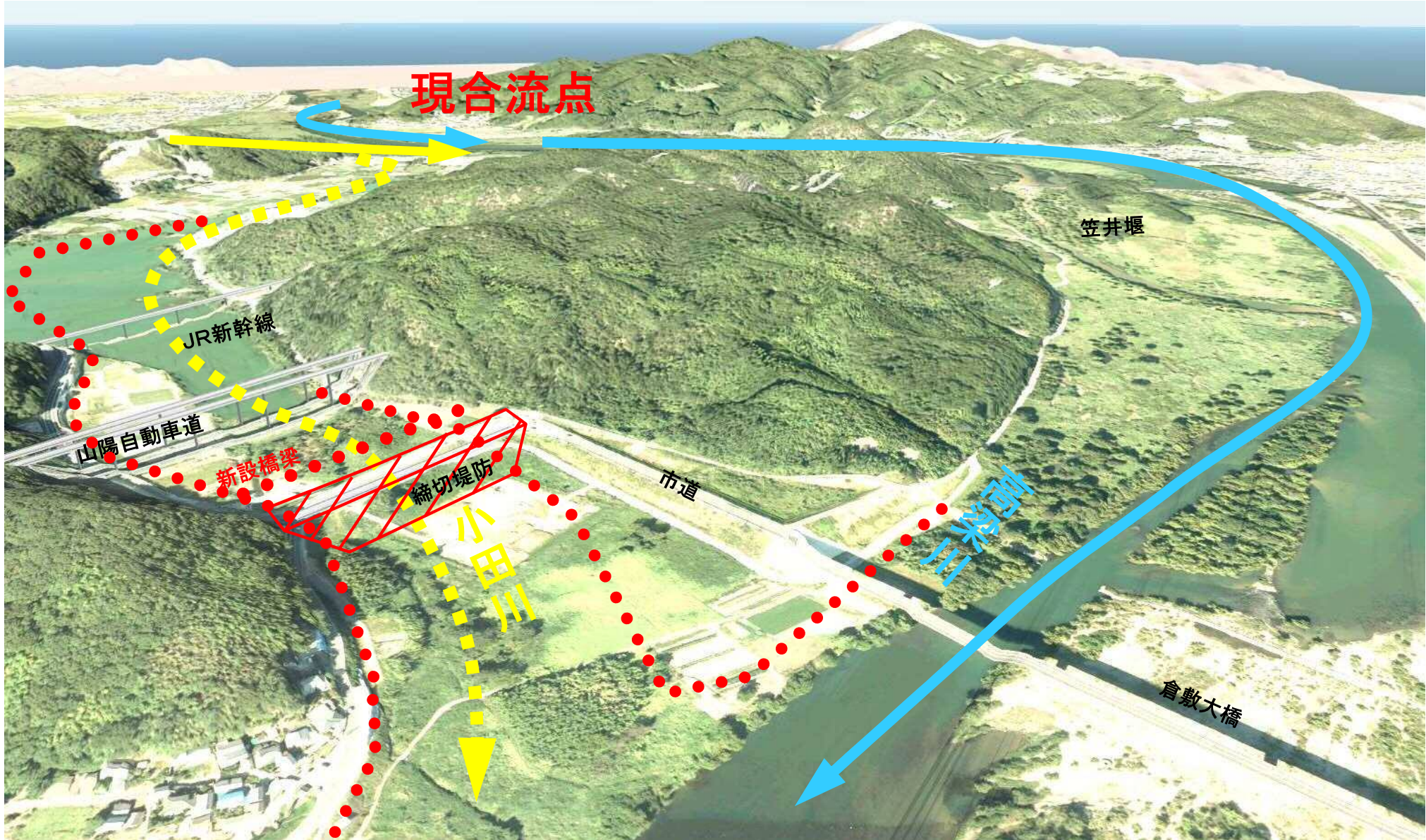
小田川付替え工事 現況(上流から望む)



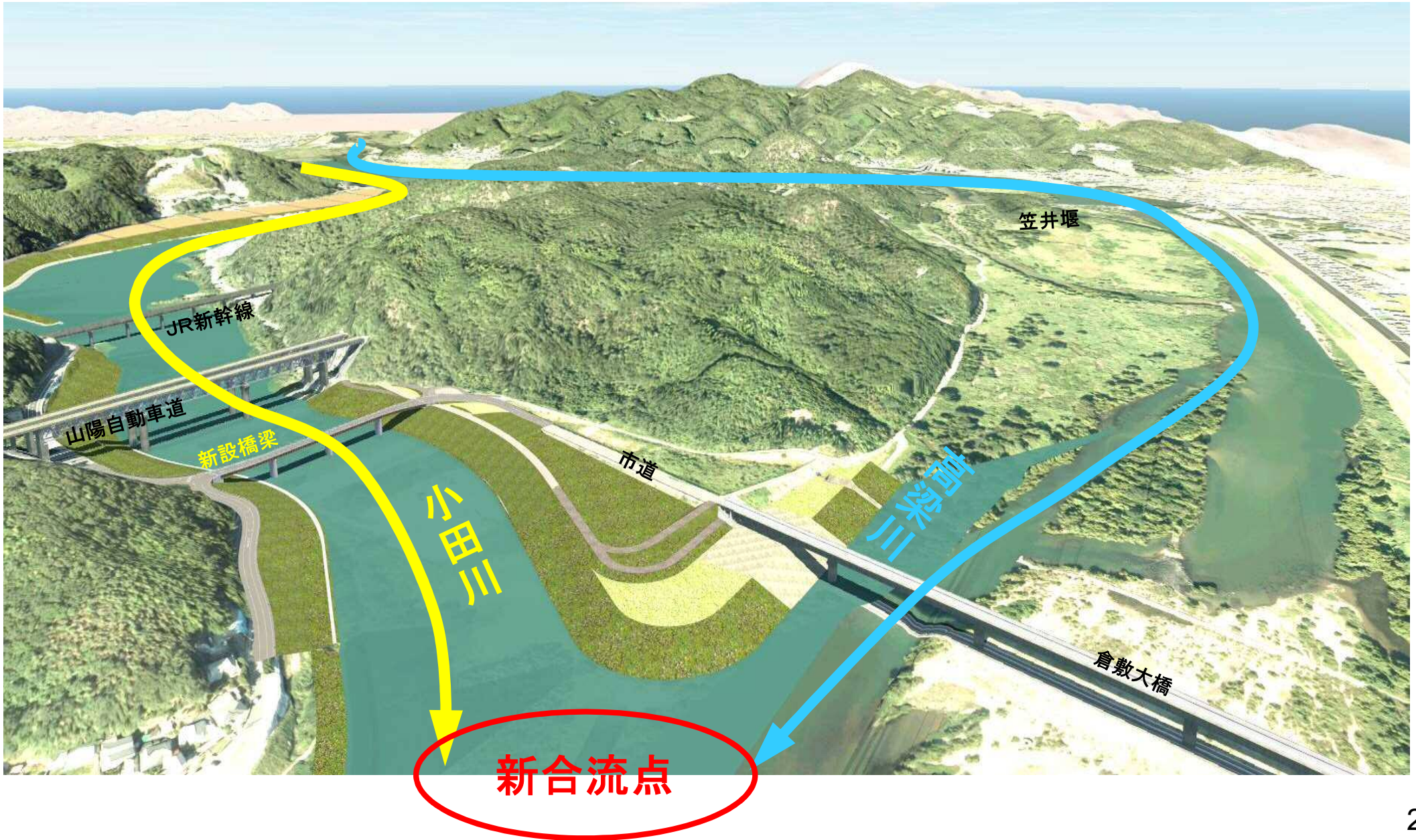
小田川付替え工事 完成イメージ(上流から望む)



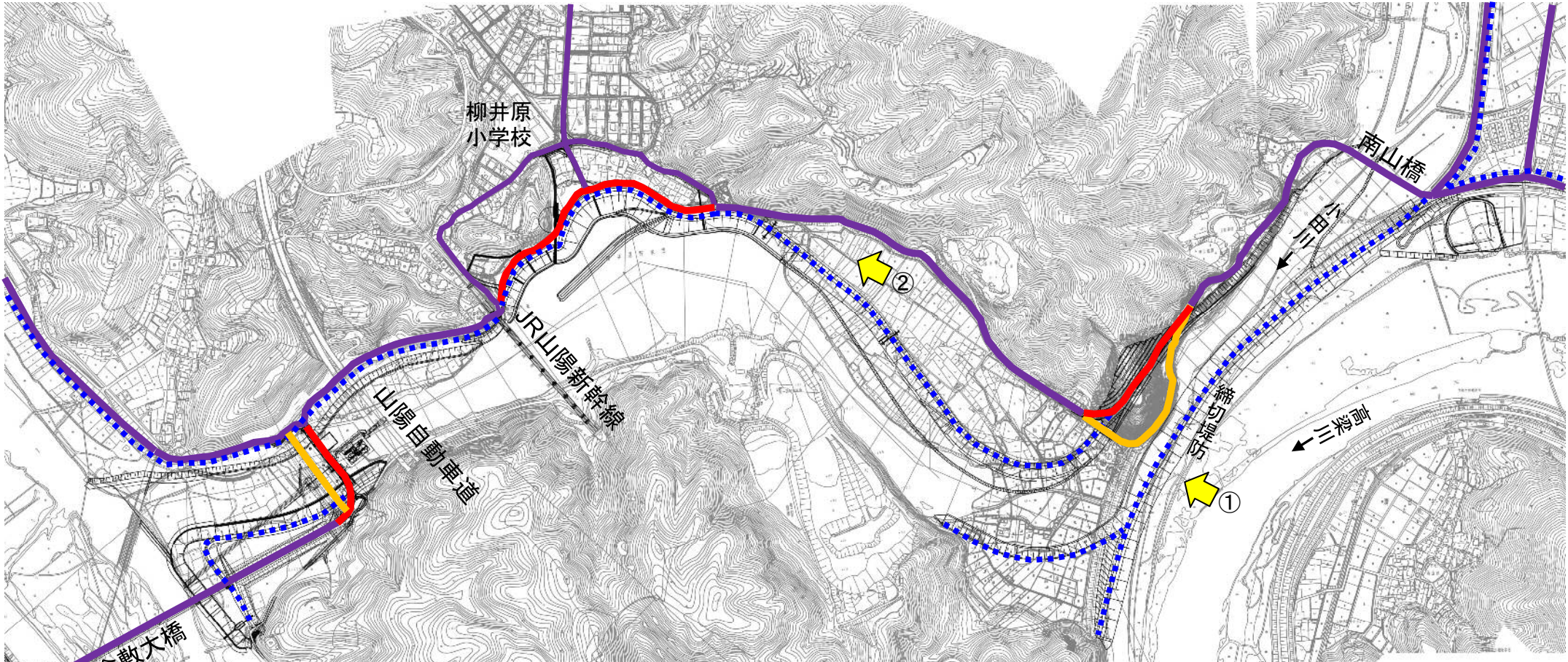
小田川付替え工事 現況(下流から望む)



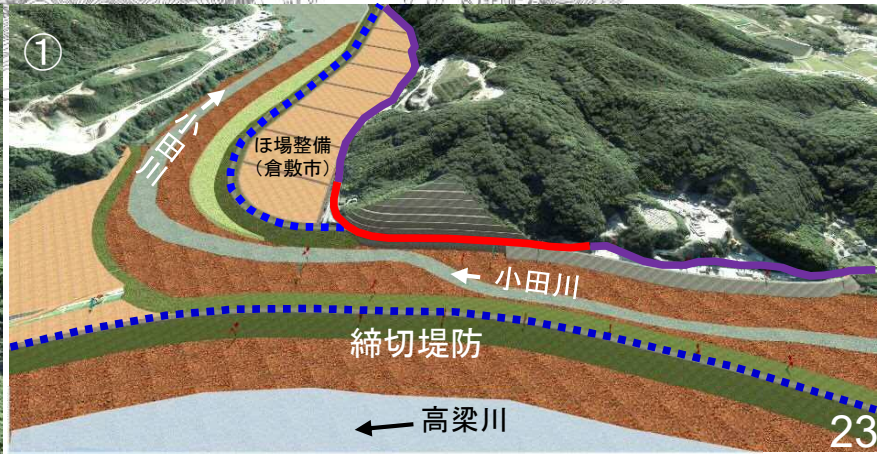
小田川付替え工事 完成イメージ(下流から望む)



小田川合流点付替え完成後の道路



- 凡例
- 現在通行している道路
 - 付替え後、通行可能となる道路
 - 付替え後、通行不可となる道路
 - ⋯⋯ 堤防



【国・県・市】堤防強化、堤防嵩上げ、河道掘削 令和元年実施箇所

小田川【国】

- 有井・川辺地区において、基盤漏水対策を実施中。令和3年3月までに完成予定
- 服部地区において、堤防強化工事を実施中。令和3年3月までに完成予定
- 有井地区～箭田地区において、河道掘削を実施中。引き続き箭田地区～妹地区の河道掘削を実施し、令和3年3月までに完成予定

末政川・高馬川・真谷川【岡山県】

- 末政川 有井地区において、用水路（サイフォン）と堤防強化・堤防嵩上げ工事を実施中
- 高馬川 箭田地区において、堤防強化・堤防嵩上げ工事を実施中
- 真谷川 服部地区において、堤防強化・堤防嵩上げ工事を実施中

大武谷川・背谷川・内山谷川【倉敷市】

- 堤防嵩上げのための測量・設計を実施。令和2年度より堤防嵩上げを順次実施予定

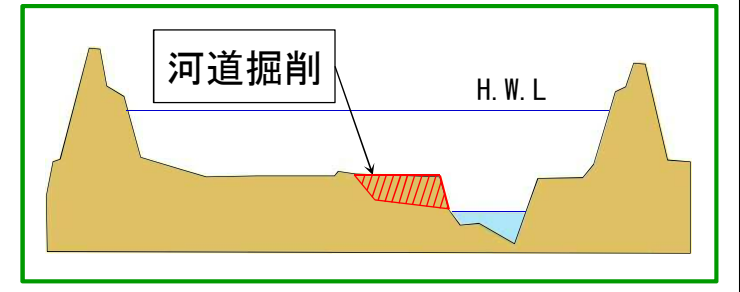


小田川の河道掘削

■小田川の河道断面を拡大するため、掘削を実施

- ⇒ 掘削期間 : 令和元年～令和3年
- ⇒ 全体掘削量(予定) : 196,000m³ (25mプール約545杯)
- ⇒ 1月24日現在 : 148,500m³ (約413杯:約76%)

※上流に向かって掘削を実施中

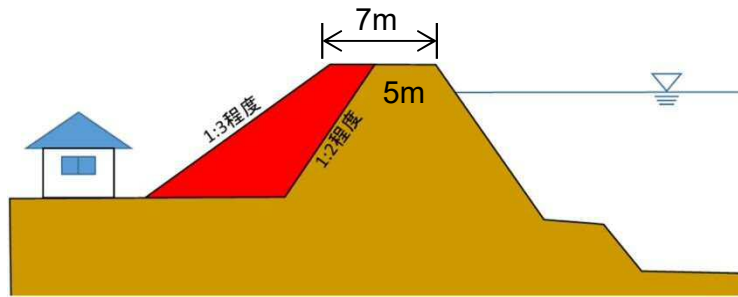


小田川の堤防強化

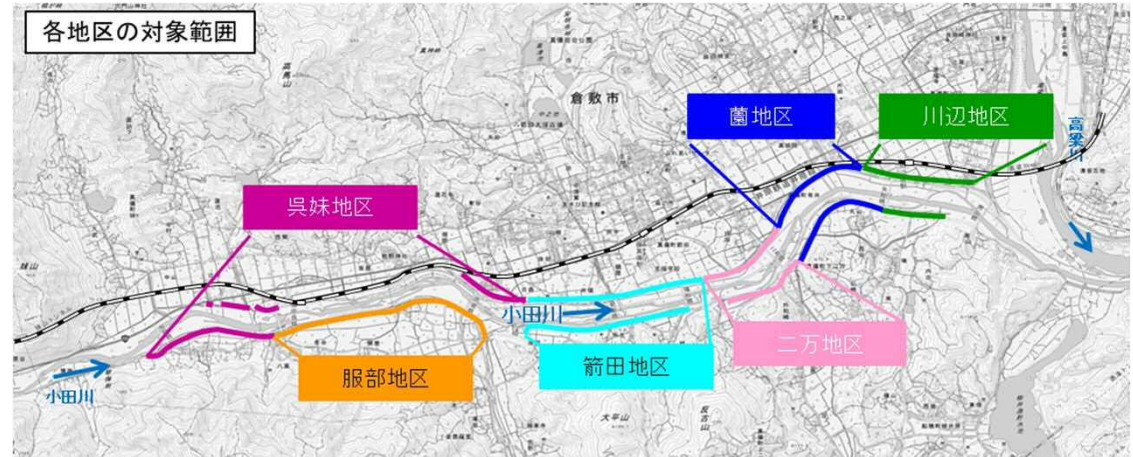
- 小田川等の河道掘削で発生する大量の土砂を有効活用し、国と倉敷市が連携・協力して堤防拡幅を実施
- 用地に関する地元説明会を地区毎に順次開催し、合意の得られた地区から用地協議を実施
- 用地が不要な服部地区の一部では工事を実施

小田川堤防強化の進捗と今後の予定

- 地域の意向を踏まえた設計が完了したため、堤防形状等に関する図面等の資料を各分館等へ掲示
- 令和2年1月から個別に用地取得の説明を行い、令和3年3月を目標に全地区の用地取得を完了予定
- 用地取得が完了した箇所から、令和2年10月中旬から工事着手予定



堤防断面拡大整備イメージ



堤防形状等に関する資料の掲示



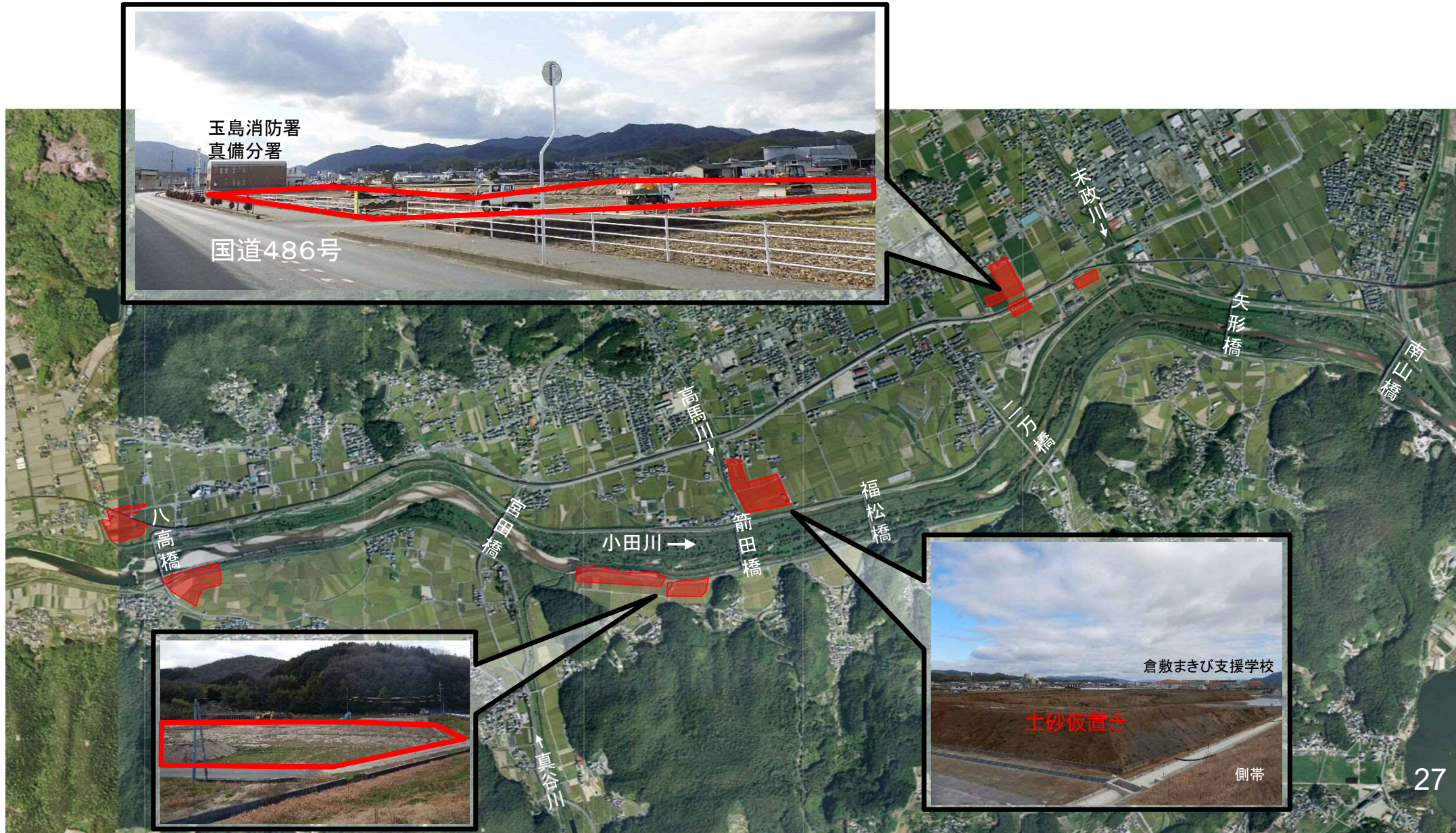
【川辺分館の例】

用地幅杭の設置(用地取得範囲の目印)

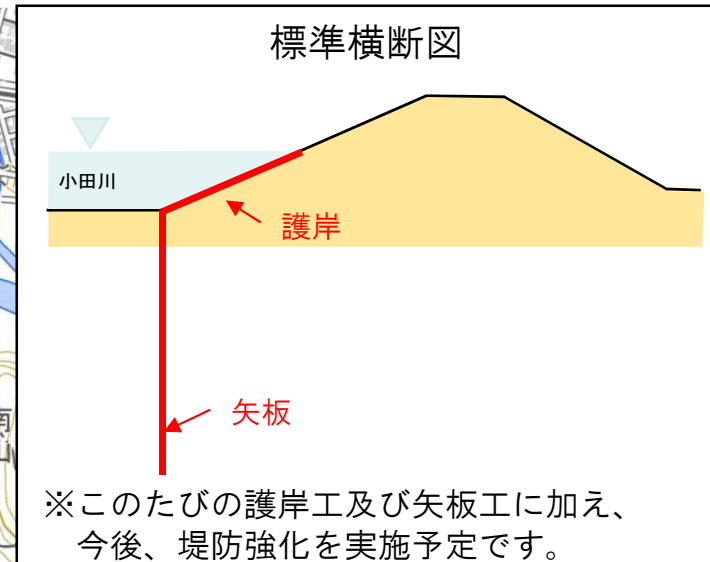


小田川の堤防強化のための土砂仮置き

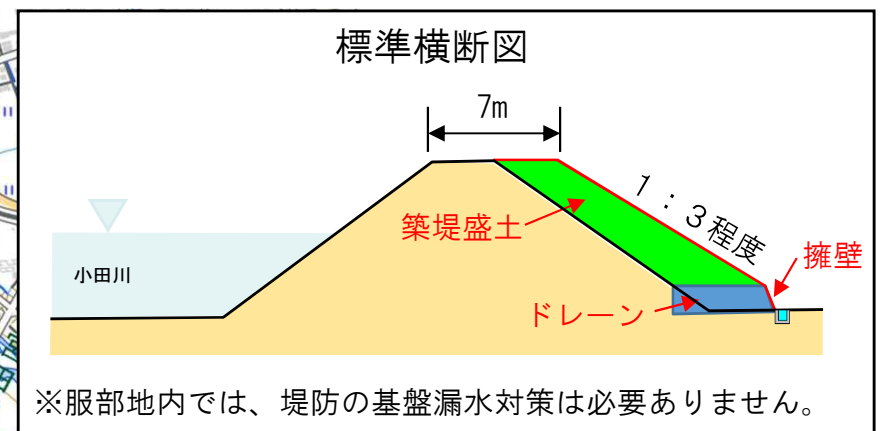
- 堤防強化に使用するため、小田川・高梁川の掘削土を田畑等を借地し仮置き
- 地権者様の協力により、必要な仮置き場所は概ね確保



小田川 有井・川辺地区の基盤漏水対策



小田川 服部地区の堤防強化

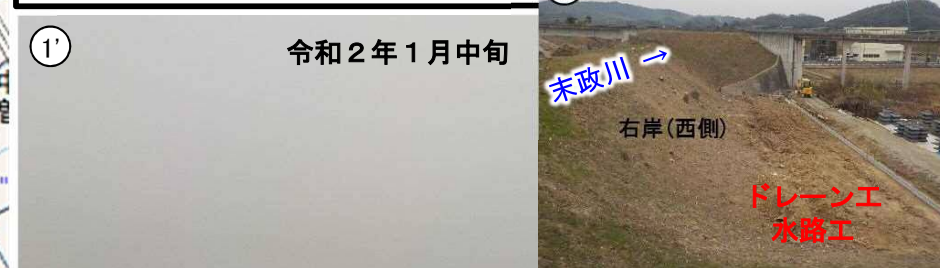
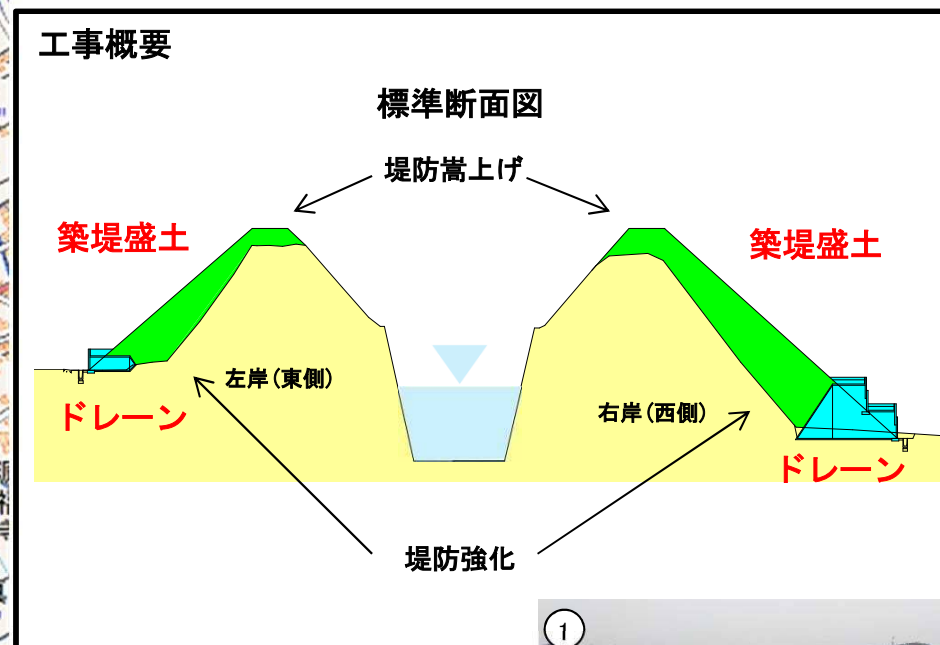


令和2年1月16日撮影

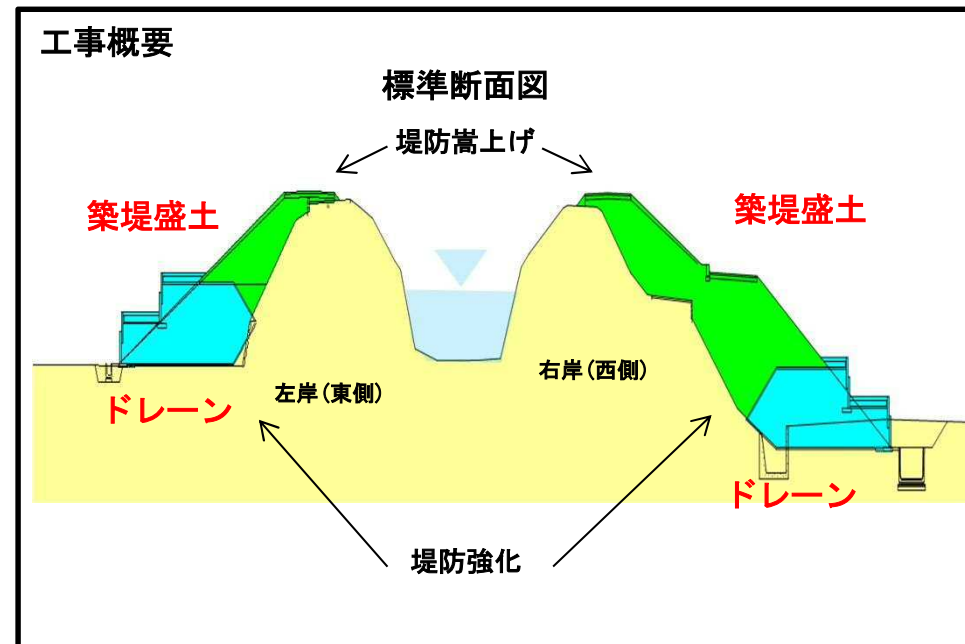


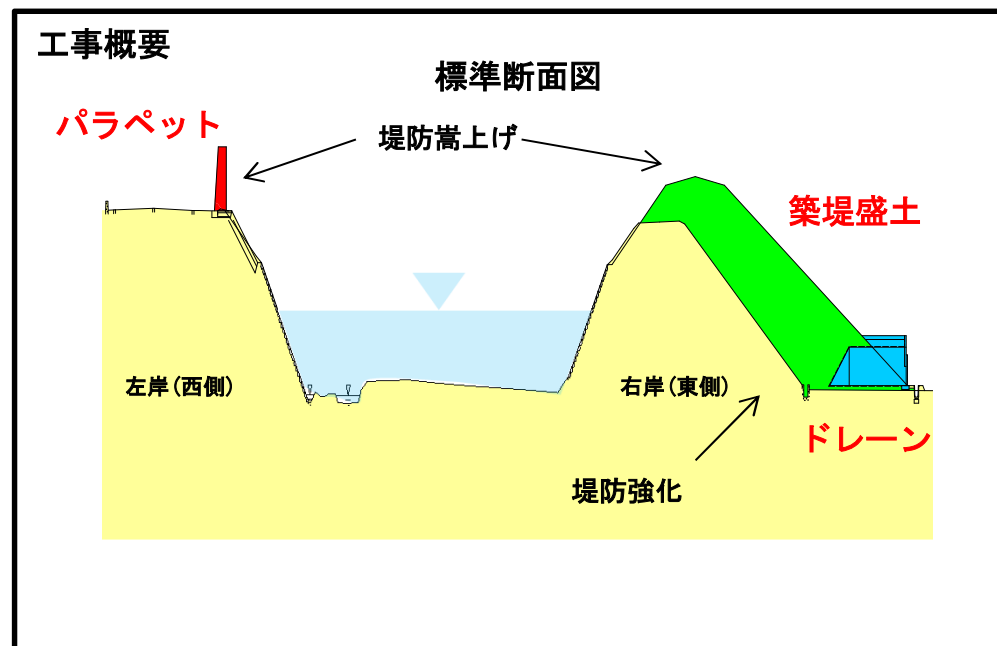
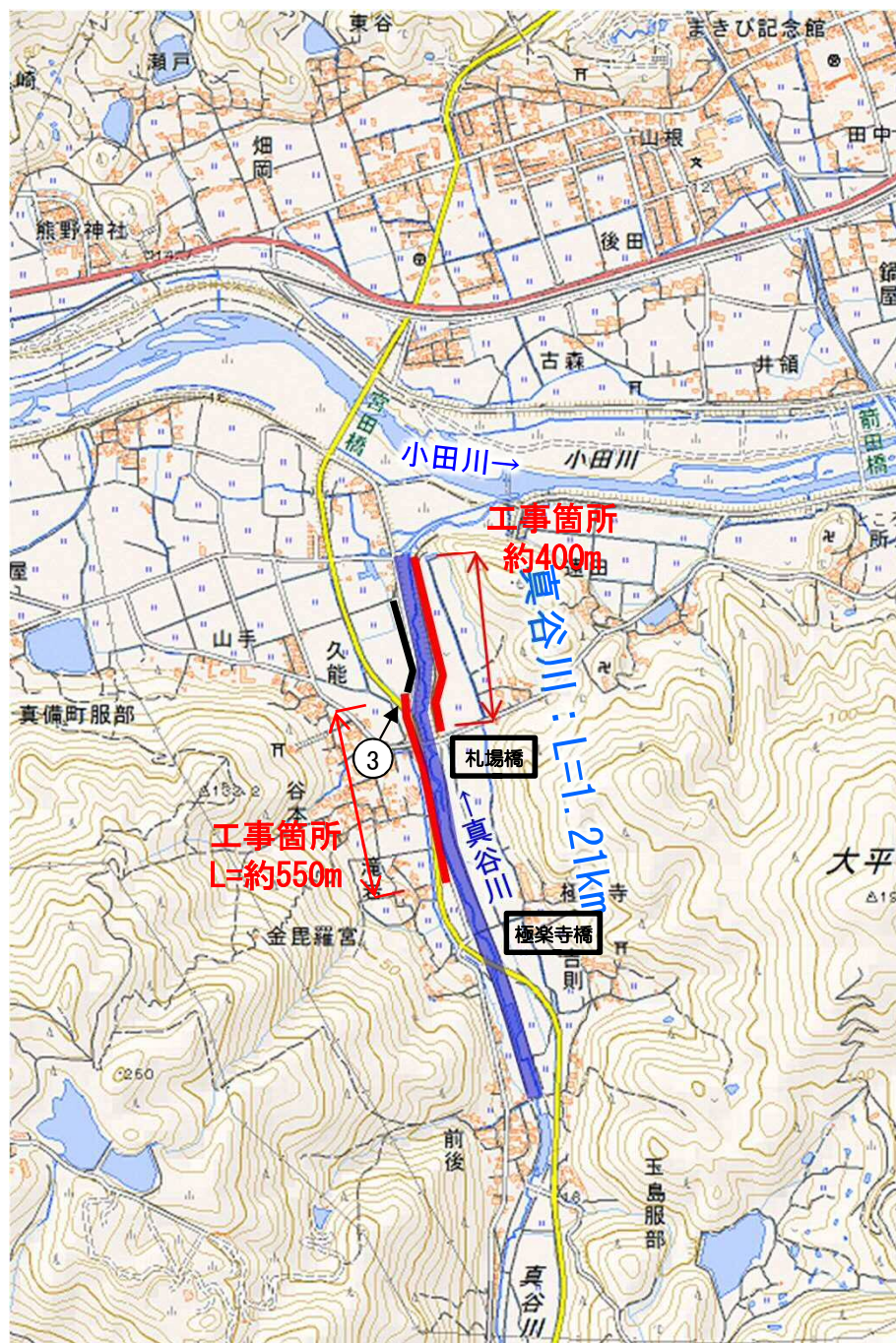
令和2年1月20日撮影

末政川 有井地区の堤防強化・堤防嵩上げ



高馬川 箭田地区の堤防強化・堤防嵩上げ





<河川堤防の安全性の向上>

- 河川堤防を嵩上げするため、今年度は測量及び設計を実施

<現在の状況>

- 地質調査
 - ・ ボーリング調査は、令和元年12月末に完了
- 測量及び設計
 - ・ 令和2年1月中旬から測量に着手
 - ・ 令和2年1月下旬から詳細設計に着手



<今後のスケジュール>

- 工事
 - ・ 令和2年度より、施工可能な箇所から順次堤防嵩上げ工事に着手（予定）

<堆積土砂の撤去>

- 災害によって河川に堆積した土砂については、昨年5月までにすべて撤去を完了

【関連工事】高梁川 3か年緊急対策実施状況



【関連工事】高梁川の河道掘削・樹木伐採状況(代表箇所)

西阿知箇所

【樹木伐採】

施工前



12月末時点



酒津箇所

【樹木伐採+河道掘削】

施工前



12月末時点



清音古地箇所

【樹木伐採+河道掘削】

施工前



12月末時点



【関連工事】高梁川(川辺付近)の工事实施予定

小田川合流点付近の工事予定

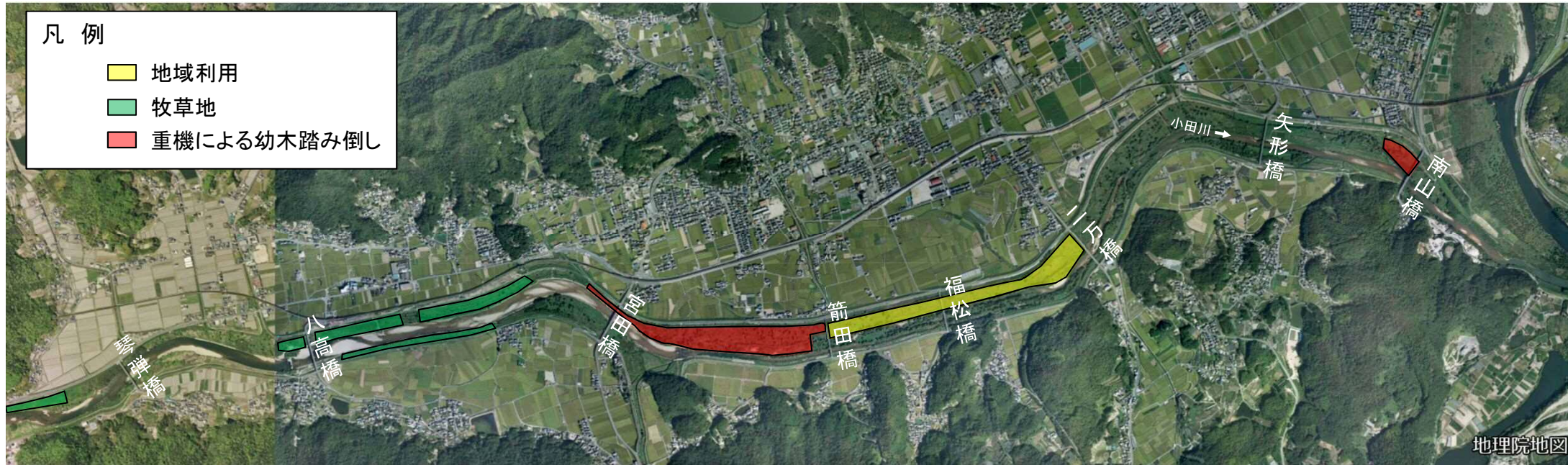


新本川合流点より下流の工事予定



小田川の維持管理

- まちづくり推進協議会（箭田地区）が、小田川河川敷で、樹林化防止のため、草や樹木の芽踏みを実施（令和2年度から河川協力団体として活動予定）
- 平成23年から河川敷を活用し牧草の生産を実施
- 他の区間（掘削工事箇所除く）では、ブルドーザによる幼木の踏み倒しを実施（効果を確認しながら2年に1回程度を想定）



真備緊急治水対策プロジェクト

ソフト対策

真備緊急治水対策プロジェクト(ソフト対策)

- 「高梁川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 真備部会」の枠組みを活用し、倉敷市、岡山県、国において、**真備地区で緊急的に実施すべきソフト対策を公表**
- 具体的な役割分担・実施時期等を定めた「アクションプラン」に基づき、**水防災意識社会の再構築に向け取組みを加速**

ソフト対策

■ 平時から災害時にかけての災害情報とその伝達方策の充実・整理

- ・ ハザードマップに不足している情報を整理し、ハザードマップを住民等にわかりやすく改善
- ・ 地域住民等の洪水ハザードマップに対する認知・理解度を向上させるための手法検討
- ・ 「多機関連携型タイムライン」の策定、及び関係機関による出水期前に机上の情報伝達訓練を実施
- ・ 洪水時の指定緊急避難場所を見直し「地域防災計画」に反映するとともに、地域住民等へ周知

■ 災害を我がことと考えるための取組の強化

- ・ 市が、新たに作成予定の防災教育カリキュラム等を活用し、小・中学生等を対象に防災知識の浸透のための防災教育を関係機関が連携して推進・普及
- ・ 防災に関する出前講座や講習会を積極的に実施
- ・ 自主防災組織等が作成する「地区防災計画」の取り組みを支援するとともに、自主防災組織と連携して避難訓練などを実施
- ・ 地域住民自身が作成する「マイ・ハザードマップ」や「マイ・タイムライン」の作成支援・普及



出前講座による小学生の防災学習 市がホームページで公開している「MYハザードマップ」作成支援ツール



■ 社会経済被害の最小化や被災時の復旧・復興を迅速化する取組

- ・ 排水施設の耐水化の必要性について検討
- ・ 浸水被害の軽減又は早期解消を目的とした排水ポンプ車の移動ルート、設置箇所及び配置等の整理を行い、排水計画（案）を作成
- ・ 排水計画（案）に基づき、関係機関と連携した排水訓練の実施と訓練結果に基づく計画の見直し
- ・ 出水期前に、河川管理者・水防団・災害協力協定締結業者等により危険箇所の合同巡視を実施し、現地状況を共有することで、出水時における水防活動を的確かつ迅速に実施



排水ポンプ車等の待機場所・排水ポンプ車等の設置箇所
排水箇所までの進入ルート(写真・図面) (写真・図面)



役場等の重要施設、上下水道等のインフラ施設の位置図
排水計画の作成事例

■ 気候変動等による豪雨の増加や広域災害に対応する取組

- ・ 真備地区における「洪水氾濫」「内水氾濫」等の発生を想定した防災行動と、その実行主体を時系列であらかじめ整理する「多機関連携型タイムライン」の策定
- ・ 出水期前に関係機関によりタイムラインに沿った机上訓練の実施
- ・ 洪水氾濫による想定浸水深を表示する「まるごとまちごとハザードマップ」を推進し、見える化を図る取組を促進

■ 避難行動につながるリアルタイム情報の充実

- ・ 平成30年7月豪雨により決壊した箇所を設置した危機管理型水位計を用いて、引き続き、水位情報を提供
- ・ 洪水時の円滑な避難行動や水防活動支援のため水位情報について関係機関へのメール配信を実施
- ・ 危機管理型水位計の情報入手方法（QRコード入）を記載したカードを製作し、真備地区住民に配布



危機管理型水位計情報のカード 危機管理型水位計の設置状況

マイタイムラインの検討

- 円滑な避難のためには住民一人ひとりがそれぞれに合った適確な避難行動をとることが重要との認識の下、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、「自分の逃げ方」を手に入れるツールがマイタイムライン
- 堤防決壊のあった鬼怒川の流れる茨城県常総市を中心に展開しているマイタイムラインを真備版として作成
- 「水防災意識の高揚」と「水防災知識の向上」を目指し、小学校や地域の防災学習で活用
- 令和2年度からは、倉敷市全63小学校の授業で活用が決定



小学校や学童でマイ・タイムラインを説明

平成30年7月豪雨で実際に避難をされた倉敷市真備地区の方々に協力頂き、倉敷市、岡山県備中県民局等監修のもと、国土交通省関東地方整備局下館河川事務所が作成した「小中学生向けマイ・タイムライン検討ツール～逃げキッド～」をもとに、「平成30年7月豪雨を踏まえたマイ・タイムライン検討ツール～逃げキッド～」を作成しました。

主な特徴はマイ・タイムラインをつくるためのヒント集を
・実際に被災した真備地区の方々の経験談をもとに作成
・避難する際に困ったことを踏まえ、事前に確認しておくべきことを記載
・避難の時に持って行って役に立ったものを記載
です。

■一括ダウンロード版 (PDF:11.94MB)

- 1.チェックシート (PDF:194KB)
- 2.資料1「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまで (PDF:1.25MB)
- 3.資料2「川の水が氾濫」するまでの主な備え (PDF:1.36MB)
- 4.資料3マイタイムライン作成シート (PDF:2.56MB)
- 5.マイタイムライン作成ヒント集 (PDF:6.18MB)
- 6.作成シール (PDF:379KB)

～逃げキッドの中身～

1 マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

洪水ハザードマップや浸水想定区域図等でチェック

あなたの住んでいる地域の浸水深度は？

避難の状況チェック

避難先のチェック

2 「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまで

「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの主な備え

「自分の逃げ方」を踏まえてマイタイムラインを作成

3 「自分の逃げ方」を踏まえてマイタイムラインを作成

「マイタイムライン」をつくらせよう！！

4 「マイタイムライン」をつくらせよう！！

「マイタイムライン」をつくらせよう！！

5 「マイタイムライン」をつくらせよう！！

「マイタイムライン」をつくらせよう！！

6 「マイタイムライン」をつくらせよう！！

「マイタイムライン」をつくらせよう！！

簡易型カメラの設置

- リアリティーのある気象の状況や河川の状況を住民一人一人に伝達するため、河川監視カメラを活用し、通常の文字情報に加え、画像・映像によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信を行う
- 真備地区において既存の河川カメラ3基に加え、簡易型カメラを国が6基、県が3基を増設し、映像配信予定



【確認方法等】

専用サイト「川の水位情報」からインターネットを通じて、どなたでも閲覧していただけます。

URL <https://k.river.go.jp/>



※河川カメラは、夜間も映像を観ることはできますが、簡易型カメラは、夜間は映像を観ることはできません。

水位表示板の設置

□新川辺橋への水位表示板設置は令和2年6月中旬（出水期）までに実施予定



※設置したイメージを表現しており実際の状況とは異なる場合があります。

警戒 レベル
5
(危険) 4
(警戒) 3
2 (注意)
1

氾濫の発生

氾濫危険水位

避難判断水位

氾濫注意水位

【氾濫危険水位】	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村長の<u>避難勧告等の発令判断の目安</u> ・住民の避難判断の参考になる水位
【避難判断水位】	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村長の<u>避難準備・高齢者等避難開始の発令判断の目安</u> ・住民の氾濫に関する情報への注意喚起
【氾濫注意水位】	<ul style="list-style-type: none"> ・水防団の出動の目安

真備地区における大雨時の対応

平成30年7月豪雨災害により甚大な被害が生じた倉敷市真備町（以下、「真備地区」という）において、抜本的な治水対策である真備緊急治水対策（小田川合流点付替え、小田川の河道掘削・堤防強化、末政川、高馬川、真谷川の堤防嵩上げ・強化等）が完成する令和5年度までの間、河川管理者である国土交通省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所（以下「国」という）及び岡山県備中県民局（以下「県」という）と倉敷市真備支所は情報共有体制を強化し、下記のとおり対応を実施します。

1. 真備支所への情報共有体制強化

これまで、国及び県から倉敷市災害対策本部（水防本部）へ一元的に共有される災害情報は、災害対策本部から真備支所（地区本部）にも情報共有されていましたが、より迅速な対応が図れるよう、今後は、国及び県がそれぞれ管理する河川のパトロール結果等について、倉敷市災害対策本部に加えて、真備支所にも直接情報を共有します。

さらに、レベル3相当に水位が到達することが見込まれるような場合、国は職員を真備支所に派遣し、一体となって洪水対応を実施します。

2. 真備地区における大雨時の対応について

国、県、市は高梁川水害タイムラインに基づき対応を実施します。

3. 陸閘の閉鎖について

末政川、内山谷川、背谷川の陸閘を閉鎖します。

真備地区における大雨時の対応

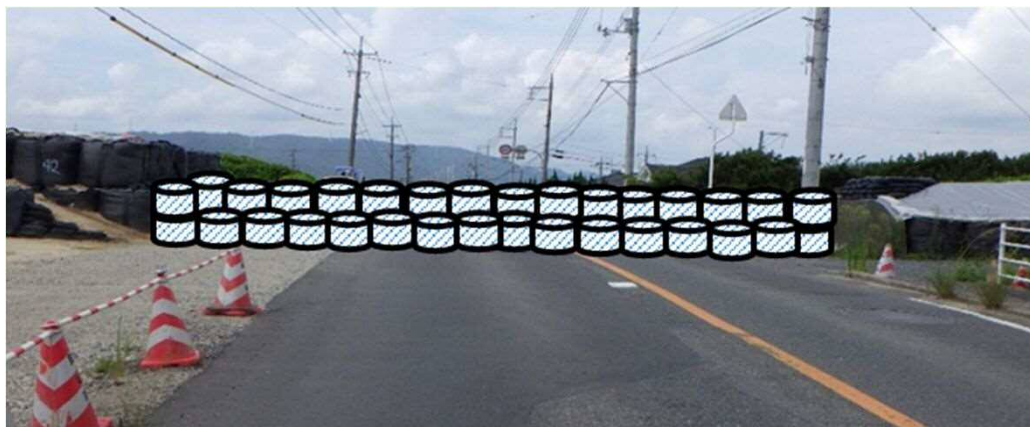
レベル	避難情報	小田川、高梁川の水位 (下記の水位は全て国の水位観測所値)	国交省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所、岡山県備中県民局、倉敷市真備支所の主な動き	
			体制等	主な内容
レベル0			・情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・土のう配布 ・水路・ため池の事前排水 ・小田川事前排水(宮田堰、八高堰の開放) ・排水樋門順次閉門 ・内水排水ポンプ順次稼働
レベル1		水防団待機水位 (矢掛2.50m、酒津7.40m)	・体制整備	
レベル2		氾濫注意水位 (矢掛8.80m、酒津8.70m)		<ul style="list-style-type: none"> ・陸閘閉鎖順次開始(末政川、内山谷川、背谷川)[別紙2、3参照] ・広報車での周知 ・エリアメール等で周知(高齢者等避難) ・避難所開設 ・堤防が低い猿掛・井ノ口地区への大型土のう設置
レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	避難判断水位 (矢掛3.40m、酒津11.60m)		<ul style="list-style-type: none"> ・エリアメール等で周知(全員避難) ・広報車での周知 ・排水機場、樋門管理操作員順次退避
レベル4	避難勧告 避難指示(緊急)	氾濫危険水位 (矢掛3.90m、酒津12.00m)		<ul style="list-style-type: none"> ・エリアメール等で周知(命を守る行動)
レベル5	命を守る最善の行動	越水・破堤 (可能性含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・職員退避(安全な場所で復旧対策の検討・調整) ※一部の職員は真備支所に残って対応を続ける予定

※時系列はあくまで目安であり、気象の状況等により柔軟に対応します。
 ※矢掛の水位は矢掛水位観測所(国)の水位です。

大雨時における陸閘の対応

- 県管理河川の末政川では、大雨により河川水位が上がった場合に、真備町川辺146号線（有井橋）の陸閘を閉鎖するため、市がルールをとりまとめました
※この陸閘は、今後、末政川の改修事業で有井橋を改修後の堤防の高さに合わせて架け替えることで廃止とします

- 内山谷川及び背谷川では、大雨により河川水位が上がった場合に、国道486号（真備町尾崎地内・妹地内）に陸閘を設置するため、県が陸閘設置のルールをとりまとめました
※現在、陸閘の改良に向けて、現地の地質や地形の調査を実施中



〔末政川(有井橋)陸閘閉鎖イメージ図〕



〔内山谷川陸閘設置イメージ図〕

- **地域における防災力の強化を図るため、「倉敷市災害に強い地域をつくる検討会」を設置し、災害時の住民避難について、住民への情報提供や周知の在り方、住民による自主的な避難を促進するための検討を行います**

＜＜検討内容＞＞

【住民への情報提供や周知の在り方】

- **住民による防災情報の入手や確実な伝達**

【住民による自主的な避難を促進するための検討】

- **地区防災計画の策定支援**

- ・ 住民が自主的に取り組む防災体制への支援
- ・ 防災活動を契機とする地域づくり

- **防災教育の推進**

- ・ 小学生などを対象とした防災教育の環境づくり
- ・ 「自らの命は自らが守る」意識の徹底と災害リスクや災害時に取るべき避難行動の理解促進

- **避難行動要支援者の避難対策の推進**

- ・ 要支援者の在り方、防災と福祉が連携した避難行動に対する理解促進

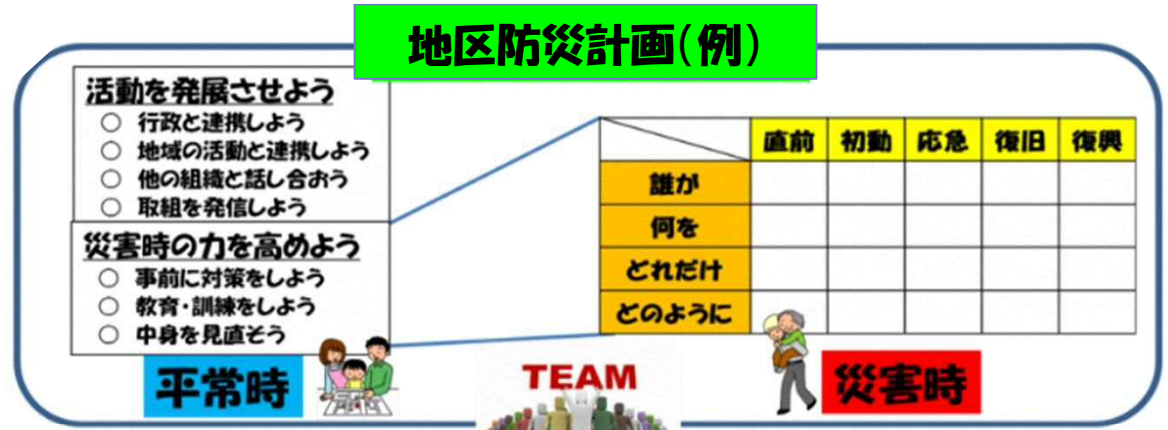
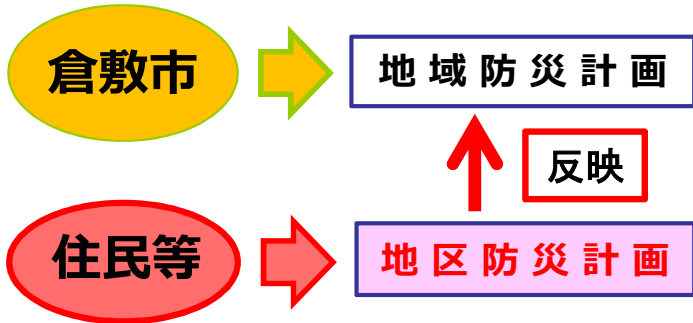


【検討会開催の様子】

※令和元年度末までに、災害時の住民避難について、地域と行政が、今後、目指すべき方針や地区防災計画策定などに向けた行動計画を取りまとめる予定

- **地区防災計画**は、地域における防災力を高めるため、各地区の地域的特徴を踏まえて、地区住民が主体となって策定する計画で、市はこれを支援する
- 平常時、発災前後（避難行動、避難所開設）、避難所生活等について、地区が必要な事項（組織づくり、防災マップ、避難場所・ルート確認、備蓄、防災教育、訓練、避難所運営など）を地区の住民で話し合いを促進する

地区防災計画の作成



【地区防災計画策定に向けたワークショップの様子】



真備緊急治水対策プロジェクト

工事に関するお知らせ

小田川合流点付替え事業に関するお知らせ

現場事務所・作業員宿舎

ジュンテンドー真備店跡地に小田川付替え工事業者（鹿島建設・大本組・荒木組JV）が事務所及び宿舎を建設していますが、1月15日から入居されています

当面は鹿島建設・大本組・荒木組JV職員の15名程度が入居しています
順次増加していき、最大で90名程度の入居を想定しています

インフォメーションセンター

※3月2日(月)開所予定

小田川合流点付替え事業の概要や南山掘削工事の進捗状況などを広くお知らせするため、工事現場付近にインフォメーションセンターを設置します

平日の9時～17時までは、どなたでもご自由に見学できます。また、希望があれば、国土交通省職員により事業概要や工事の進捗を説明させていただきますので、御連絡ください

なお、土日祝日は原則インフォメーションセンターを閉所といたします



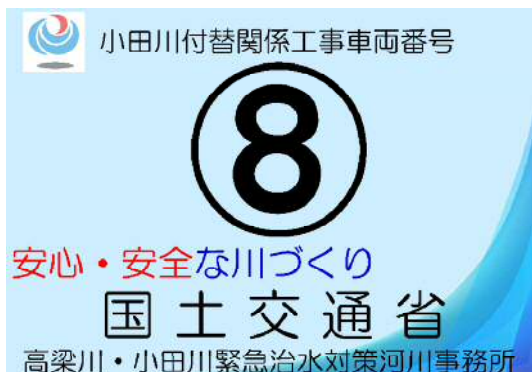
ダンプトラック等のステッカー掲示について

国・岡山県関係工事車両には、歩行者や一般車両等への交通安全対策や過積載防止等のため、発注機関や工事箇所等が特定できるように国と岡山県で定めるステッカーを車両に下図のとおり設置しています

国工事車両

◆小田川合流点付替え関連工事

<ステッカー掲示例>



岡山県工事車両

<ステッカー掲示例>



◆小田川堤防強化関連工事

<ステッカー掲示例>



ベースカラー	河川名
黄色	末政川
水色	高馬川
緑色	真谷川

真備緊急治水対策プロジェクト

その他

□国・岡山県・倉敷市からの発信



□国からの発信

国土交通省
高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
ウェブサイト
<http://www.cgr.mlit.go.jp/takaoda>



□岡山県からの発信

岡山県河川課
ウェブサイト
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/64/>

おかやまの土木・建築
(岡山県土木部facebook)



□倉敷市からの発信

まび復興だより
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/33087.htm>



真備緊急治水対策プロジェクト

□国土交通省に関すること

(小田川合流点付替え、小田川堤防整備、小田川河道掘削)

国土交通省 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

電話 697-1020

メールアドレス：info-takaoda@cgr.mlit.go.jp

□岡山県に関すること

(末政川、高馬川、真谷川堤防整備)

岡山県 備中県民局 建設部 河川激甚災害対策班

電話 434-7157

□倉敷市に関すること

倉敷市 建設局 災害復興推進室 (ハード対策)

電話 426-3460

メールアドレス：reprm@city.kurashiki.okayama.jp

倉敷市 総務局 防災危機管理室 (ソフト対策)

電話 426-3131

メールアドレス：dapvt@city.kurashiki.okayama.jp